

サバイバル！「救命ボード」

指導計画

	内容	留意事項
<p>教室配置</p>		<p>＜グループディスカッション時＞ ホワイトボード 4 台をそれぞれ向かい合うように配置し、それぞれ背面側に各グループが集まる形とする。これにより、他のグループの目を気にせずに話し合いに集中できる。</p> <p>＜発表時＞ ホワイトボードの記入面を内側に向け、全員が輪の中に入る。このとき、全員がホワイトボードの内容と発表者の様子を見られるよう配置を工夫する。</p>
<p>準備する 教材・設備等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボード 4 台 (グループ数) ・ ワークシート 18 枚 (人数分) ・ 筆記用具 18 本 (人数分) ・ 筆談機器 必要な数 	
<p>情報保障</p>	<p>講師が直接手話や文字を用いて参加者に情報を伝える。グループ内のディスカッションでは、互いのコミュニケーション状況に配慮し、全員が参加できる方法で話し合いを進めるよう伝える。</p>	

<p>ルール</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大嵐で豪華客船が沈没したという設定で、残った10人が最終的に全員生き残るための方法をグループごとに考え、発表する。場面設定は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・大海原で豪華客船が沈没した。 ・生き残ったのは全部で10名で、2隻の救命ボートに分かれて乗っている。 ・救命ボートはいずれも定員5名で2隻しかなく、1隻はエンジンが壊れていて走行できない。 ・エンジンの力は弱く、二つのボートをつなげてひっぱることはできない。 ・そのため10名のうち5名がエンジン付のボートを使って陸を探し、助けを求めに行く。 ・生き残った10名のプロフィールは資料の通り。 ・全員が生き残るためには、誰がエンジン付のボートに乗るとよいか？ 2. グループでの話し合い時間は40分。ワークシートやホワイトボード等を用いて、全員が話し合いに参加できるよう工夫する。 3. 発表は各5分。複数名で協力しながら行い、参加者全員がわかるように伝える。 	
<p>進行・展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主旨説明（5分） 講師は、スライド資料を提示して全体の流れを説明する。（サインマイン提示） ○ グループディスカッション（40分） グループごとに分かれ、ワークシートを用いて情報共有を行うとともに、グループとしての意見をまとめて、ホワイトボードに記入する。この際、ホワイトボードを筆談に活用してもよい。話し合いがまとまったら、全体発表時の発表方法を考える。 ○ 発表・まとめ（25分） グループごとに発表を行う。それぞれの持ち時間は5分。講師とアシスタントは発表を見て、どこが説得力があったかを評価する。 	<p>講師・アシスタントはコミュニケーション面で取り残される学生がいなくどうかを注意深く見守り、その場に参加できていない学生がいる場合には、どうしたらよいかグループで考えさせるよう支援する。</p>
<p>指導教材 資料</p>	<p>スライド資料 生き残った人リスト ワークシート</p>	